



# 夏休み前の学級づくり

「見る 聞く 認める」を大切に学級づくり

7月になり、1学期も残すところ数日となりました。学期末は何かと忙しく、あっという間に夏休みになってしまいますが、この数日の取組が2学期の学級経営を左右すると言っても過言ではありません。ポイントとなるのは、学級づくりの基盤となる学力保障、保護者連携、環境整備です。これらは豊かな人間関係づくり・確かな学力づくりをする上で、なくてはならない要素であり、夏休み前に1学期の取組を振り返り、2学期の取組につなげていく必要があります。

今回は、その他の事項も含めて、夏休みまでの学級づくりのポイントについて簡単にまとめました。

## 夏休み直前の学級づくりのチェックポイント

### □学習の進捗

できなかったところは  
2学期にすればいいか...

◆学習の進捗を確認し、残りの時間と学習内容の調整を行う

◆ドリル等は、学習した範囲を学校でやりきる

時々「学期末になると、勉強が早く進むようですが、大丈夫でしょうか…」という保護者からの相談があります。ドリル等についても、学期末に大量に宿題として出したり、多くのページに手つかずのままで返したりすることは、担任に対する不信感を生む恐れがあります。また、多忙な2学期に教材を回すことは、子どもに負担をかけることとなります。

### □個人懇談

まずは、保護者にしっかりしてもらって、家庭教育の充実を...

◆1学期の成長を保護者とともに喜び合う  
◆課題や弱点の克服方法について、具体的に示す

どのご家庭もお忙しい中、時間をやりくりして学期末懇談に来られます。「来てよかった」と思っただけの懇談づくりは、学級づくりにおいてこの上ない強い応援となります。

子どもの「できたことやできなかったこと」「頑張ったことやもう一息だったこと」を伝えるだけの懇談にとどまらず、子どもの成長や未来の幸せをともに願う保護者と担任とが、協同して子どもに向き合っていくことを確認するチャンスとしたいものです。そのために、振り返りと具体的な見通しを共有できるような内容を用意しましょう。

### □教室の整理整頓

そのうち片付けようと思っっています...

意外と忘れがちなのが、教室環境の整備です。教室が散らかったまま1学期を終えると、2学期までそのままになりがちです。夏休みに整理整頓しようと思っても、何かと忙しい夏休みに、暑い教室で片付けをする気にはなかなかありません。結局2学期が始まるまでそのまま、始業式後の子どもたちの最初の仕事が散らかった教室の片付け・掃除にならないようにしましょう。

夏休みは会議もあるし、研修もあるし、部活もあるし...



### □夏休みにすること

◆夏休みに何をしておけばよいかを整理する  
◆管理職に相談し、チームで対応する

夏休み中のことだけではなく、1学期の振り返りと2学期の準備が必要です。学校全体での振り返りや次の計画の他に、学年・学級でしておかなければならないことを確認します。2学期の学習内容や行事予定等を見ながら、内容の確認をしたり、役割分担をしたりします。

その他にも、気になる子どもの家庭訪問をしたり、必要に応じて補充学習をしたりします。その際には必ず学年主任や管理職に相談し、チームで対応することが大切です。

### □トラブル

そのうち何とかなると  
思いますが...

◆早期発見・早期対応で解決の早道をたどる  
◆安心感と所属感を高め、前向きな子どもの取り組みにつなぐ

1学期のトラブルは解決できましたか？中には解決に至らないこともあるかもしれませんが、1学期のトラブルが未解決のままでは、気持ちよく2学期を迎えることができません。常に人間関係の変化を敏感に察知し、必要に応じて話を聞くことで、子どもは安心感と所属感を高め、前向きに取り組めるようになります。

散らかった教室は、「散らかしてもよい」というメッセージをわたしたちに送ります。

